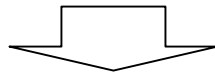


丸の内物流TDM実証実験(平成14年2月)

背景

業務集積地では一般に、積載率の低いトラック等による環境負荷の増大、路上荷裁き等による交通環境の悪化、ビル内各階への集配作業の長時間化等、物流効率が低下しているが、そうした課題を解決し、街としての機能向上が求められている。

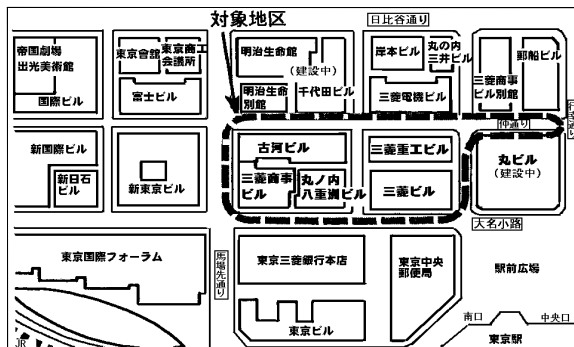


実験の概要

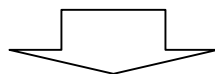
丸の内2丁目の2街区5棟を対象に、次の各項目について対策を実施した。

- ・CNG車10台を投入した共同配送
- ・ストックポイントを利用した共同配送
- ・区域内全ビルでの縦持ち共同化
- ・地下駐車場における荷裁きスペースの拡充
- ・車両誘導員による路上駐車抑制と地下駐車場への誘導

[実験区域図]

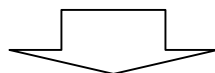


[実験で使用したCNG車]



実験の成果

地下の荷裁き駐車場利用台数が約1.4倍に拡大
路上駐車台数が約半分に減少
CNG車使用と走行台キロ削減によりNOx・PMの排出量を約半分に削減



実験の成果を応用し、平成14年9月にオープンした丸ビル内に物流センターを設置し、4社による縦持ち共同化事業を実施中。